

施工説明書

業務用

洗髪用

ヒーリング ステーション システム
Healing Station System

STALLION II A

スタリオン II A

目次

[1] 梱包品の確認	1 頁
[2] 各部の名称	2-3 頁
[3] 設置の前に	4 頁
[4] 使用条件	4 頁
[5] 設置条件	5 頁
[6] 設置スペース・配管の確認	5-6 頁
[7] 設置	7 頁
[8] ストップバルブのご使用方法	8 頁
[9] ミキシングバルブのご使用方法	8 頁
[10] 通水テスト	8 頁
[11] シャワー圧力・シャワー流量の確認	9 頁
[12] ミキシングバルブの調整方法	9 頁
[13] 設置が終わったら	9 頁
[14] 定格仕様・寸法	10 頁
[15] 工事完了後の点検項目	裏表紙



T903-00

施工の前には、この施工説明書をよくご覧の上正しく施工してください。
施工が終了しましたら、裏面の「工事完了後の点検項目」を記入頂き、
この施工説明書をサロン様にお渡しください。

サロン様のお使いになる方は、この施工説明書をいつでも見られる所に
大切に保管してください。

この施工説明書では製品を正しく施工していただき、お客様への危害や
損害を未然に防止するために、注意事項が絵で表示してあります。
全て安全に関する内容ですから、必ずお守りください。

・注意

誤った取扱いをすると、人が傷害を追う可能性、あるいは物的損害のみの発生が
想定される内容を示しています。

施工には付属品の逆止弁・ストレーナ付元バルブを必ず、取付けてください。

[1] 梱包品の確認

- ①シャンプーユニット本体
 - ②逆止弁・ストレーナ付元バルブ(給水・給湯用)2個
 - ③排水ホース(2吋手締ナット付き)
 - ④防臭キャップ
 - ⑤エルボ2個(サーモバルブ接続用)2個
 - ⑥-1両ニップル75mm(ネック高さ800mm用)2個※①
 - ⑥-2両ニップル30mm(ネック高さ750mm用)2個※②
 - ⑦保温材付フレキ管430mm(給水用)
 - ⑧保温材付フレキ管470mm(給湯用)
 - ⑨ノンアスパッキン6枚
 - ⑩M10×60 アンカーボルト 4本
 - ⑪M9×50 コーチスクリュー 4本
 - ⑫平ワッシャー 4枚
- ※①ネック高さ800mmの場合両ニップル30mmは付属しません。
 ※②ネック高さ750mmの場合両ニップル75mmは付属しません。



①シャンプーユニット本体



②逆止弁・ストレーナ付元バルブ



③排水ホース(2吋手締ナット付き)



⑤エルボ



⑥-1両ニップル75mm
(ネック高さ800mm用)



⑥-2両ニップル30mm
(ネック高さ750mm用)



④防臭キャップ



⑦保温材付フレキ管 430mm(給水用)



⑧保温材付フレキ管 470mm(給湯用)



⑨ノンアスパッキン



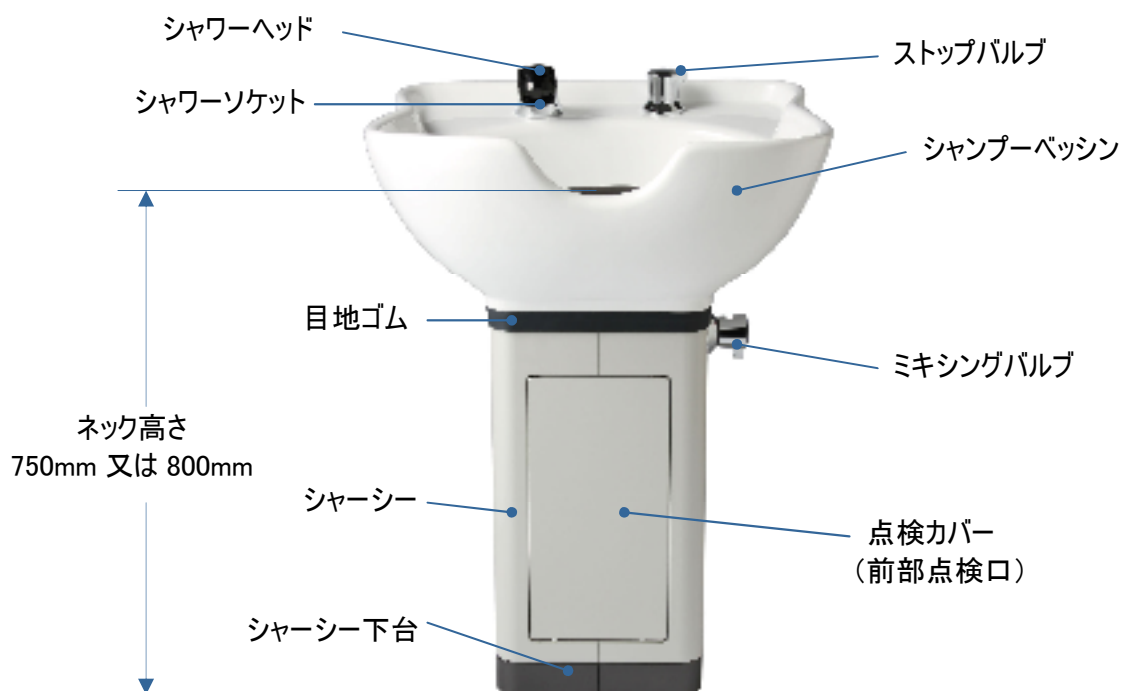
⑩ M10×60
アンカーボルト

⑪ M9×50
コーチスクリュー

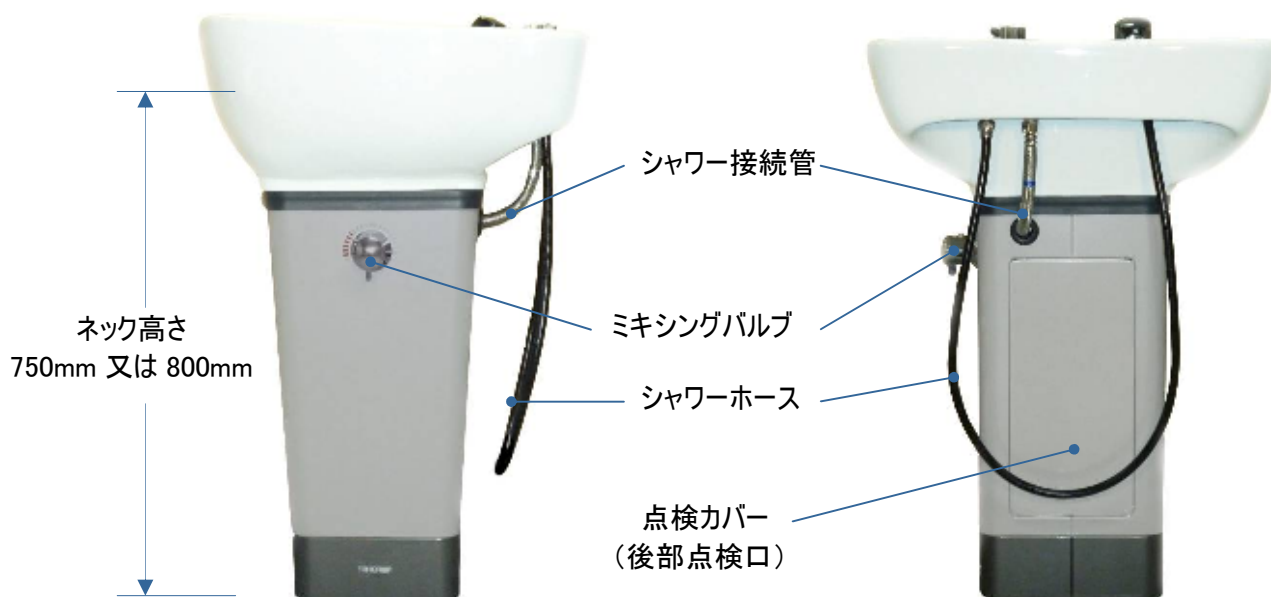
⑫ 平ワッシャー

[2]各部の名称

本体正面



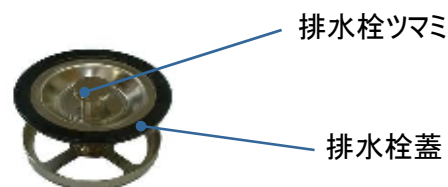
※写真は750mmタイプです。



※写真は800mmタイプです。

(スタリオンⅡのネック高さは750mmと800mmの2タイプあります)

シャンプーベッシン



点検カバーの取り外し方法

- 点検カバーの上部を手で押さえて上に持ち上げてください。[写真 3-A]
- 点検カバーの下部を手前に引き出すと取り外しができます。[写真 3-B]



点検カバーの取り付け方

- 点検カバーの上部をシャーシーに差し込んでください。
- 点検カバーの下部をシャーシーに納めて下方方向に押し込んでください。

[3]設置の前に 配管施工について

配管施工については本書の内容を十分に理解した上で、正しい配管の施工をお願い致します。

●給水配管

市水道直圧の場合、市水道直圧以外(高架水槽等を介す)の場合、いずれもその地域の水道局指定工事店に依頼して、その地域の水道局施工基準等の法規に従って工事を行なってください。

- 給水配管は VP・HI管等を使用してください。(錆の発生する材料の使用は避けてください。)
- 給水管・給湯管の立ち上がり部分は 13mm (1/2) 2 台以上を並列使用の場合、床面は 20mm(3/4) 以上の配管を使用台数、設置のレイアウトを考慮してご使用ください。
- 排水管の立ち上がりは VU40 又は VU50 2 台以上を並列使用の場合床面は VU50 以上の排水管を使用台数、設置のレイアウトを考慮してご使用ください。
- 排水管の勾配は 1/50 以上にしてください。
(VU100 以上は 1/100 以上の勾配を確保してください。)
- 給水管・給湯管は同径にて施工してください。
- 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯配管は銅管を使用してください。
- 給湯には蒸気は使用しないでください。
- 給湯器からの給湯配管は最短距離で接続してください。
- 水栓取り付け前には必ず配管内の清掃を行い配管内のゴミ、砂等を完全に洗い流してください。
破損や水漏れの原因となります。
- 配管接続後の通水テスト後に必ず、ストレーナとシャワーヘッドの清掃をしてください。
- 通水検査を実施していますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

[4]使用条件

給水・給湯について

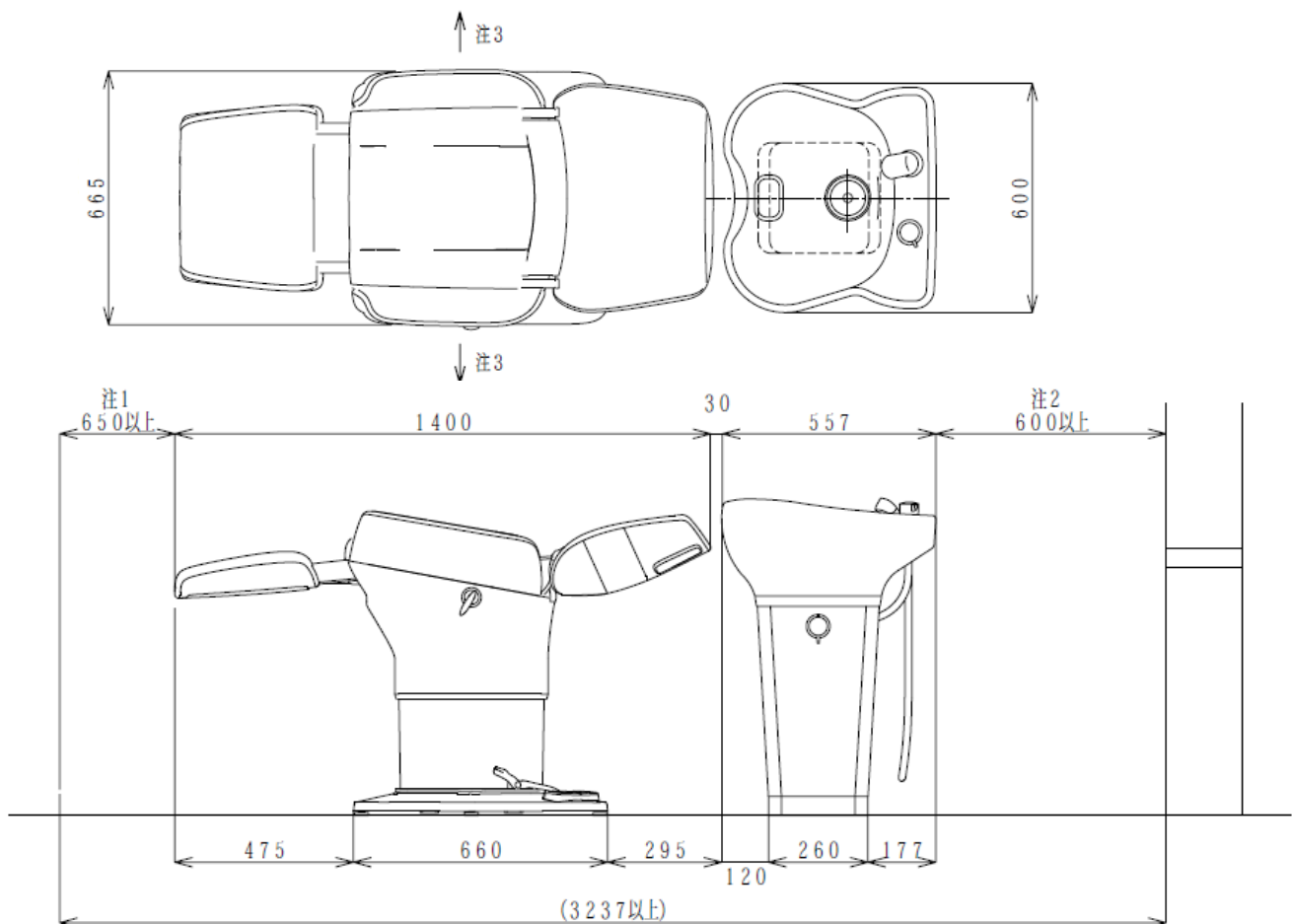
- 給水は上水道を使用してください。(井戸水等使用不可)
- 給水圧力が 0.75MPa を超える場合は、市販の減圧弁を設置して適性圧力に減圧してください。
 - 最低必要圧力=0.1MPa(シャンプーユニットを数台並列配管して同時使用する場合にも1台あたりの水圧がシャンプーユニット接続部において動水圧 0.1MPa 以下にならないようにしてください。)
 - 適正圧力=0.2~0.3MPa(シャンプーユニット 1 台あたり)
- シャワー流量が多い場合は、ストレーナ付元バルブで適度な流量に調節してください。
 - 参考値・・シャンプーユニット接続部での給水・給湯圧力が下記数値の場合の 40℃時シャワー流量
 - ①給水圧力=0.10MPa 給湯圧力=0.08MPa 時の 40℃シャワー流量は約 8.5ℓ/min です。
 - ②給水圧力=0.15MPa 給湯圧力=0.10MPa 時の 40℃シャワー流量は約 9.5ℓ/min です。
 - ③給水圧力=0.15MPa 給湯圧力=0.15MPa 時の 40℃シャワー流量は約 11ℓ/min です。
 - ④給水圧力=0.2MPa~0.3MPa 給湯圧力=0.2MPa 時の 40℃時シャワー流量は約 13ℓ/min です。
給湯器設定温度=60℃ ミキシングバルブ設定温度=40℃ 水温 15℃時
- ※シャワー流量は設置条件(給湯器・配管距離・配管径等)により異なり、上記の数値は目安です。
- 給湯温度は、ご使用になる温度より 10℃程度高く設定してください。 ○推奨給湯温度=50℃~60℃
- 使用条件(使用台数)を加味し、適正な能力の給湯器をご選択ください。給湯器の給湯能力が不足しますと適正な吐水量及び吐水温度が得られない原因となります。 ○参考・・ガス瞬間湯沸かし器をご使用の場合は、16 号相当の給湯器1台でシャンプーユニット1台分の給湯能力になります。
- 給湯源に標準圧力型電気温水器をご選択の場合、給湯圧力が低く、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。ご注意ください。
- 給湯源に高圧力型及び直圧式の電気温水器をご選択された場合の推奨給湯温度は 60℃から 65℃です。
(給湯温度は 70℃以下でご使用ください)
- 高温でのご使用は水栓金具の寿命を短くし、破損や水漏れの原因となります。

[5] 設置条件 現場の確認

モルタル床	モルタル厚は 50mm 以上必要です。
木製床	ベニア厚は 30mm 以上必要です。
その他(タイル、石張り等)	床面がタイル等の場合はシャンプーユニット取付け時のボルトの締め付けにより、床材に割れが発生します。この場合にはシャンプーユニット取付け部をモルタル又は合板等の床材に変更してください。

- 床面は必ず平坦にして施工してください。(取付け部の平坦度は特に注意してください)
- 取付け部の床面は特に凸凹がないようにしてください。
- 床面は水に強い仕上げ材で施工してください。

[6] 設置スペース・配管の確認



シャンプーチェアはRS-002の寸法図です。

注 1 レッグレスト先端から壁面又は家具まで 650mm 以上。フットケアをされる場合は 1000mm 以上。

注 2 600mm 以下になるとシャンプー作業が困難になる恐れがあります。

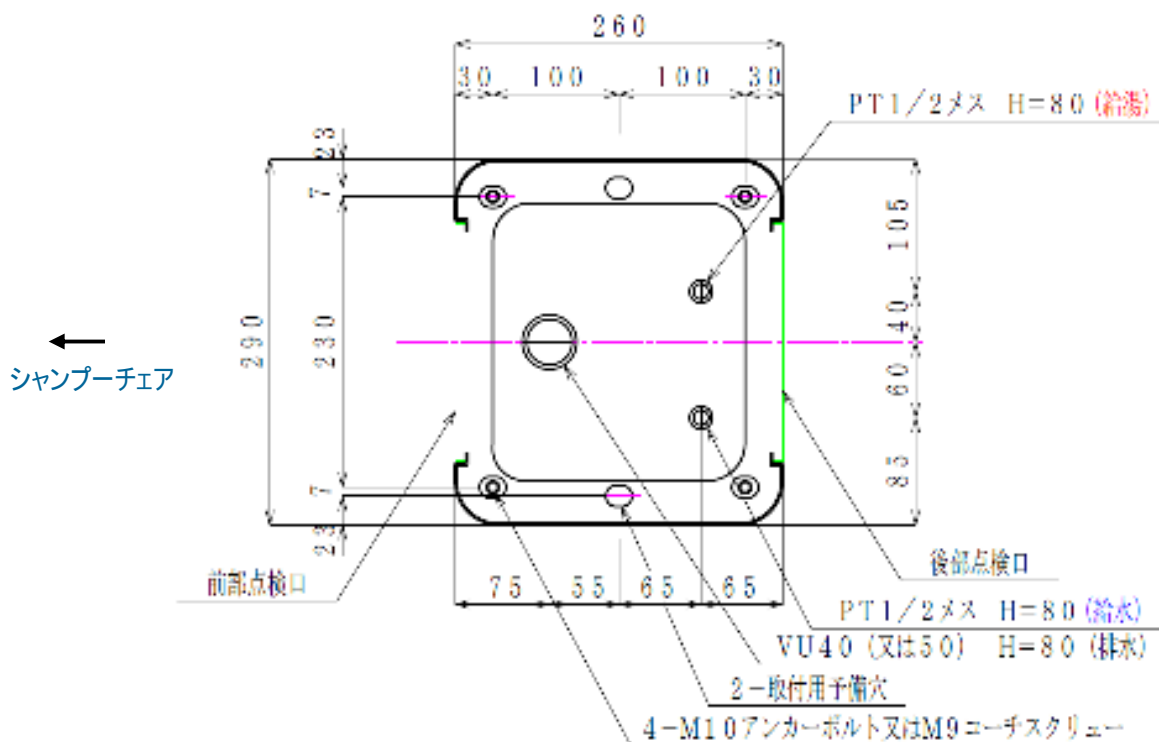
注 3 600mm 以上(通路を含む場合は 800mm 以上) ハンドケアをされる場合は 1000mm 以上。

配管施工図は2種類あります。取付け現場の事情により、ご選択ください。

- 標準配管図 配管施工及び日常のメンテナンスを後部点検口よりおこないます。
- 前配管図 現場の事情によりスタリオン背面と壁面の距離がせまい場合は配管施工及び日常のメンテナンスを前部点検口からおこなう前配管図で施工してください。

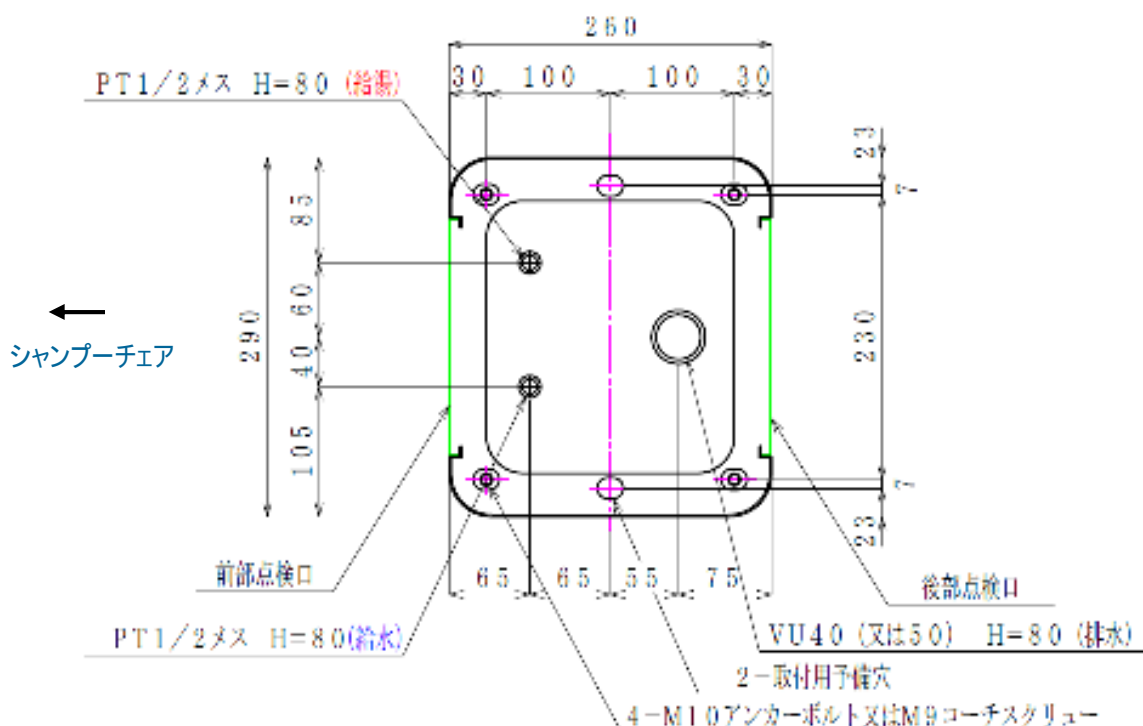
標準(後)配管図

配管接続及びメンテナンスを後部点検口からおこなう場合



前配管図

配管接続及びメンテナンスを前部点検口からおこなう場合



[7]設置

・注意

開梱時、取付け時シャンプーユニットは陶器製で重く、割れ易いので必ず2人で作業してください。

持ち運ぶときは、引きずらないでください。床などを傷つけます。

シャンプーユニットの取付け

1、シャンプーユニットを仮置きしてアンカーボルトの取付け位置を確認してアンカーボルトを取付けてください。(木製床の場合はコーチスクリューの下穴をあけてください)[写真7-A]

2、逆止弁・ストレーナ付元バルブを取り付けます。[写真7-A]

・注意 付属品の元バルブ以外の止水栓は絶対に使用しないでください。

・注意 シャンプーユニットに接続する前に必ず、ゴミ、砂、油等の配管内のくずを除去した後にフレキ管を取付けてください。



[写真7-A]

アンカーボルトを取り付ける元バルブを取り付ける。

3、シャンプーユニットを床面に取付けます。[写真7-B]

※ シャンプーユニットの取り付け穴の寸法には余裕を持たせてあります。仮締め時に微妙な位置のズレがあれば修正した後に本締めしてください。



[写真7-B]

本体を床に固定

4、排水ホースを取付ける。

排水ホースに防臭キャップを取り付けて排水管に差し込みます。

・注意 排水ホースは必要寸法にカットして取付けてください。

5、エルボをミキシングバルブに取付け、保温材付フレキ管を取付けに必要な形状に曲げた後にエルボと元バルブに接続してください。

[写真7-C] [写真7-D]

・注意 水と湯の接続を逆にしないでください。



[写真7-C]

フレキ管取り付け例
標準(後)配管施工の場合
後部点検口より



[写真7-D]

フレキ管取り付け例
前配管施工の場合
前部点検口より

[8] ストップバルブのご使用方法

- ストップバルブのハンドルを左に回すとシャワー口から吐水します。
左へ一杯回すと吐水量が最大になります。[写真7-E]
- シャワーを止める時はストップバルブを右に一杯回してください。[写真7-F]



[写真7-E]
止水時ハンドル位置



[写真7-F]
シャワー吐水時ハンドル位置

[9] ミキシングバルブのご使用方法

- ミキシングバルブを左に回すとシャワー温度が高くなり、右に回すとシャワー温度が低くなります。
- 温度調節ハンドルを回して安全ボタンをお望みのダイヤル位置に合わせてください。
(ダイヤルの数字は湯温を示す目安としてください)
- 温度調節ハンドルには誤って熱湯を出さない様に安全ボタンが付いています。温度調節ハンドルは40°C近辺の目盛りでロックされていますから、40°C以上のシャワーを出すときは、安全ボタンを押しながらミキシングバルブを左に回してください。[写真8-A]

安全ボタン



[写真8-A]

[10] 通水テスト

1、通水して各部の水漏れをチェックしてください。

・注意 輸送中に接続部が緩んで、水漏れする場合があります。
シャンプーユニットの接続部分すべての水漏れチェックをしてください。



[写真8-B]
元バルブ



[写真8-C]
ストレーナ

2、通水後シャワーににごりがなくなった後、ストレーナ及び

シャワーヘッド内部を清掃して下さい。[写真8-B] [写真8-C]

- ①元バルブ(給水・給湯)を閉じます。(ハンドルを右に回します。)
- ②ストレーナ付逆止弁のキャップを左に回してストレーナ付逆止弁を取り出します。
- ③ストレーナ付逆止弁を清掃し、元バルブ内部のゴミを除去します。
- ④元バルブ内部を清掃後、ストレーナ付逆止弁を本体に戻します。
- ⑤元バルブ(給水・給湯)を開き、シャワーを出してください。
- ⑥シャワーヘッドを外して内部をシャワーで洗い流してください。

3、給湯、給水圧力は同圧又は一定であるか、チェックしてください。

4、給水・給湯の圧力バランスが悪い時はストレーナ元バルブで流量を調節してください。

5、温度調節は正常にあるか、チェックしてください。

[11] シャワー圧力・シャワー流量の確認

- シャワー流量を確認してください。
- シャワー流量が 12ℓ/min を超える場合はストレーナ元バルブにて給水・給湯の流量を調節してください。

[12] ミキシングバルブの調整方法

- サーモバルブがダイヤル通りのお湯が出ることを確認してください。
- 取付け現場の給湯器の種類、給水・給湯の圧力差等の状況によってはダイヤル通りのシャワー温度にならない場合があります。
この場合は以下の手順で、温度調節ハンドルの調整をして下さい。

40℃シャワー時にミキシングバルブ位置が、右図のように安全ボタンが 40℃の位置にこない場合にミキシングハンドルの位置を変更します。

[写真 9-A] [写真 9-B]



[写真 9-A]



[写真 9-B]

① 40℃のシャワー温度がでる位置にミキシングバルブを回す。

② この位置でミキシングハンドルを引っ張り、取り外します。

[写真 9-C]



[写真 9-C]
ミキシングハンドルを
取外した状態

③ 安全ボタンが 40℃の位置に来る様にハンドルをはめ直します。

[写真 9-D]



[写真 9-D]
40℃の位置に安全ロ
ックボタンが、中央
(上部)にくるようにミ
キシングハンドルをは
め直します。

[13] 設置が終わったら

以下の項目を点検してください。

- ① シャンプーユニットにガタつきは無いか。
- ② 各部の水漏れ検査の再チェックをお願い致します。
(ストップバルブ・サーモバルブ・給水管・給湯管の各接続部及び封水トラップ、排水接続部)

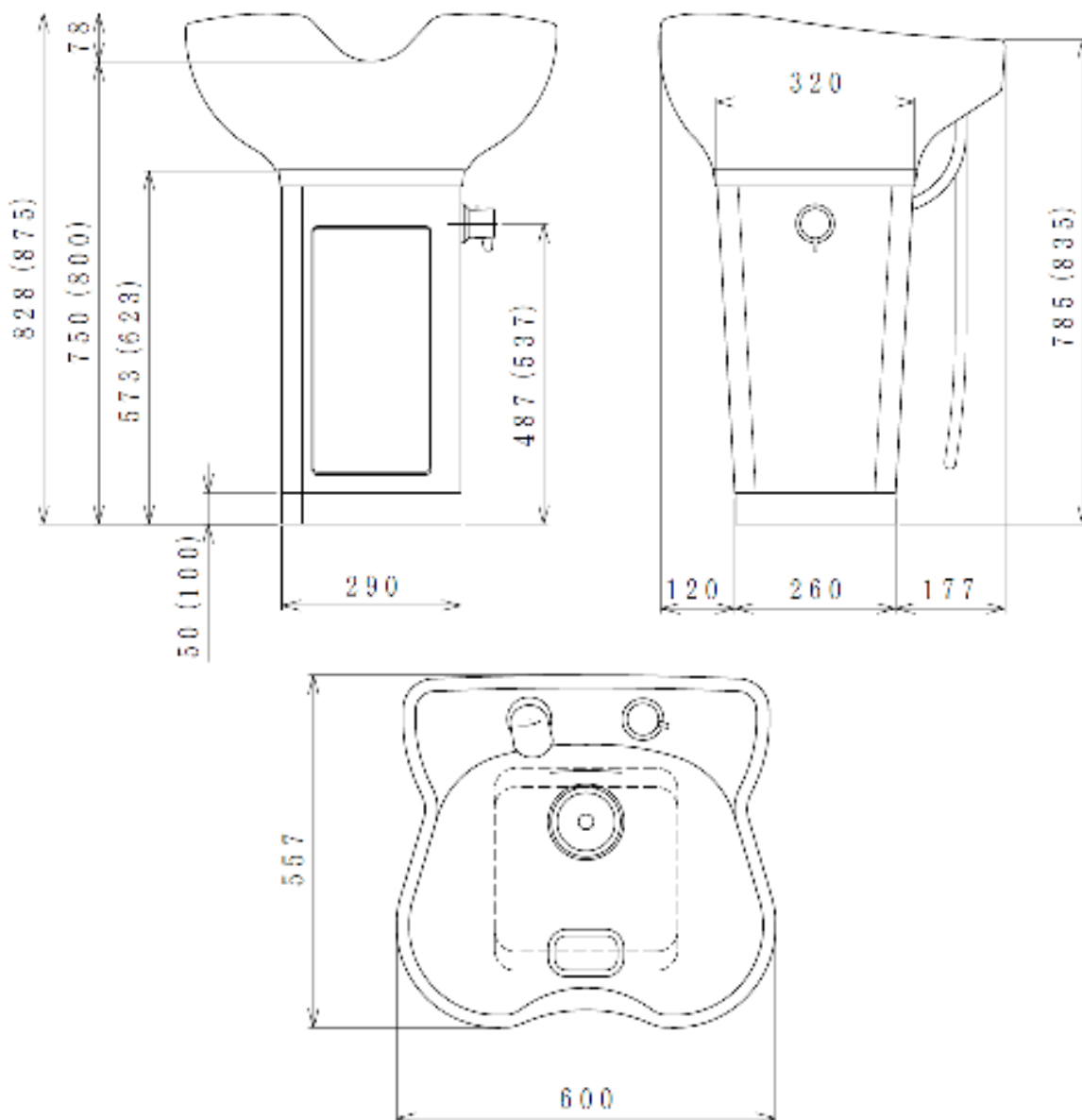
[14] 定格仕様・寸法

● 定格仕様

商品名 : STALLION II A
型式番号 : T903-00
外形寸法
ネック高さ 750 mm : 間口 600 mm × 奥行 557 mm × 高さ(前)828 mm (後)785 mm
ネック高さ 800 mm : 間口 600 mm × 奥行 557 mm × 高さ(前)878 mm (後)835 mm
重量 : 約 32Kg
温度制御 : サーモキシングバルブ(形状記憶合金方式)

● 寸法

()はネック高さ 800 mmの寸法です。



[15] 工事完了後の点検項目 (施工工事店様記入箇所)

● 施工完了証

		本製品の施工に伴い以下を確認致しました(点検項目「□」に「レ」を入れてください)	
施工完了日:		年	月 日
工事店様	ご住所	〒 □□□-□□□□ TEL: - -	
	店名		担当: _____

● 点検項目 (「□」に「レ」を入れてください)

- 給水・給湯の元バルブは逆止弁とストレーナ内蔵のスタリオンⅡAの付属品が取付けられている事。
- 給水・給湯管～サーモバルブ接続部に水漏れの無い事。
- ストップバルブ接続部及びシャワーホース、ミキシングバルブ接続部に水漏れの無い事。
- 封水トラップ取付け部～排水ホース～排水管の接続部に水漏れの無い事。
- 本体の設置にガタつきの無い事。
- シャンプーベッソン(陶器)にヒビ・欠けの無い事。又、シャーシー(本体)に傷・ヘコミ等が無い事。

● サロン様へ

漏水による修理以外のトラブルに際しましては、上記工事店様への相談にあわせ下記、最寄りの営業所へご連絡下さいます様、お願い申し上げます。

● 販売元

滝川株式会社

<http://www.takigawa.co.jp>

本 社

〒111-8511 東京都台東区元浅草 3-2-1
TEL:03-3845-2111 FAX:03-3845-0123

大阪営業所

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 2-3-2
TEL:06-6446-1155 FAX:06-6446-1222

名古屋営業所

〒453-0014 愛知県名古屋市中村区則武 2-6-17 名駅フォーレ
TEL:052-451-4111 FAX:052-451-4112

札幌営業所

〒064-0809 北海道札幌市中央区南 9 条 2-2-22
TEL:011-531-2121 FAX:011-531-6789

● 製造元

株式会社サンスターステンレス